

浦添市 市民部経済文化局 文化スポーツ振興課
第2回 浦添運動公園再整備計画検討委員会 会議録

第2回 浦添運動公園再整備計画検討委員会
会議録

【開催概要】

日 時	令和5年4月28日（金） 13：30～15：30
場 所	浦添市民体育館（ANA ARENA 浦添） 1階 会議室
議 事	(1) 前回委員会の内容と本日の論点 (2) 調査結果のまとめと分析 (3) 課題と解決策（案） (4) 今後のスケジュール（案）

【出席者】

（1）浦添運動公園再整備検討委員会

委員			
神谷 大介	国立大学法人 琉球大学 工学部 准教授	出席	委員長
友寄 孝	一般社団法人 沖縄しまて協会 理事 兼 技術環境研究所 所長	出席	副委員長
大石 智弘	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 公園・まちづくり調整官	出席	
平良 貴洋	沖縄振興開発金融公庫 調査部 地域連携情報室 室長	出席	
金城 孝	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビュ ーロー 国内事業部長 兼 東京事務所長	欠席	
下地 浩之	一般社団法人 沖縄県造園建設業協会 会長	出席	
照屋 満	浦添市スポーツ協会 理事 (浦添市陸上競技協会副会長)	出席	
田前 学	社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 事務局長	出席	
玉城 英吉	浦添自治会長会 小湾自治会長 (浦添市スポーツ協会理事)	出席	
関戸 塩	浦添市 PTA 連合会 会長	出席	

浦添市 市民部経済文化局 文化スポーツ振興課
第2回 浦添運動公園再整備計画検討委員会 会議録

アドバイザー			
高原 直泰	沖縄S V株式会社 代表取締役CEO	欠席	代理出席 塩川 誠（営業部長兼ホームタウン担当）
荻堂 盛助	一般社団法人 浦添市身体障がい者福祉協会 副会長	出席	
譜久里 武	一般社団法人 アスリート工房 代表	出席	

（2）事務局

浦添市			
大里 千都美	市民部経済文化局 局長	出席	
平古場 祐樹	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 技幹	出席	
諸喜田 司	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 課長	出席	
親富祖 弘也	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 係長	出席	司会
兼城 孝之	市民部経済文化局 文化スポーツ振興課 技査	出席	議事説明
徳永 徹	都市建設部 美らまち推進課 課長	出席	
比嘉 拓人	都市建設部 美らまち推進課 技査	出席	
比嘉 亨	都市建設部 新施設建設課 課長	出席	
仲島 裕貴	都市建設部 新施設建設課 技査	出席	
平野 健太郎	都市建設部 新施設建設課 技査	出席	
協力業者			
小川 勇樹	株式会社 中央建設コンサルタント	出席	令和4年度委託業務受注業者
長松 隼一郎	株式会社 中央建設コンサルタント	出席	令和4年度委託業務受注業者

【議事に対する調査、検討及び意見の概要】

2. 議事

[事務局]	(議事の説明)
説明者	(1) 前回委員会の内容と本日の論点 (2) 調査結果のまとめと分析 (3) 課題と解決策 (案) (4) 今後のスケジュール (案)
[委員]	普段から公園を利用している市民の立場としては、駐車場不足で利用できないことが課題だと強く感じている。 駐車場について、今後の方向性として、公共交通の利用促進を主に進める考えなのか、既存駐車場の増設の検討などもあるのかをお聞きしたい。
[事務局]	駐車スペースに関する課題について、ソフト面・ハード面の両方から取り組みたいと考えている。本基本構想・基本計画は今後の指針となるものであるため、基本構想・基本計画策定後の基本設計段階において調査を深めていきたいと考えている。 ソフト対策としては、公共交通の利用促進や、適切な運用を図るため目的外利用の対策、ハード整備では駐車スペースの増設等を検討したい。
[委員]	公園内の樹木について、利用者が立ち入らないエリアの樹形は良いが、園路に沿った部分では、踏圧により土が固くなることによって樹木が枯れたり、樹形が悪くなっているケースが見られるため、工事にあたっては、土壌改良をすることなどが望まれる。また、公園利用者が樹木の根を踏むことがないような動線の検討が必要である。 現在の陸上競技場のスタンドは、周囲を樹木が覆い木陰が出来て過ごしやすい空間になっているため、保全が望まれる。一方で、メインスタンドには木陰や日除けがないため、利用者が快適に利用できる空間の整備を検討してほしい。
[事務局]	土壌改良並びに樹木の根を踏まないような動線については、再整備の検討を進めるにあたり配慮するようにしたい。 陸上競技場スタンドの樹木に関しては、周囲の住宅との緩衝帯の役割も果たしているた

	め、樹木に負担がかからないようなかたちで保全を検討したい。 陸上競技場のメインスタンドに関しては、現在の位置から反対側の国道 330 号側に移設することを検討しており、利用者が快適に利用できる空間も合わせて検討したい。
[委員]	資料 p 48（課題（案）と解決策（案））について、オープンスペースの配置や、オープンスペースを活かした交流促進、適切な運用と駐車スペースの増設等の解決策が示されているが、公園内のエリアを、どのように位置づけていくのが重要である。 例えば、オープンスペースは公園内のどこに整備し、どのような人達が利用する想定なのかをお聞きしたい。 駐車スペースに関しては、駐車場の利用状況や、既存の駐車台数からどのくらいの追加が必要なのか、どの空間を利用する想定なのかをお聞きしたい。 これから設計に入る段階の中で、大きな方針について議論し、本計画の中で方向性を示す必要がある。
[事務局]	オープンスペースに関しては、新市民体育館整備に伴って、現市民体育館の前のスペースや、中央ゲートからの園路が影響を受けるため、そのようなエリアでオープンスペースとして活用出来る空間を検討したい。また、人流データ分析結果から、現在の公園内のオープンスペースで、利用状況が低い空間も確認できるため、今後は低利用空間の有効利用などを検討していきたい。 駐車スペースに関して、施設利用者に対して必要な駐車台数を検討していく。仮に駐車スペースの増設に取り組む場合には、運動公園内だけではなく、カルチャーパークも含めて検討していく。第三回の委員会では公園内のオープンスペースなどを含めたゾーニングを提示したい。
[委員]	公共交通の利用促進に関して、既存のバス会社等の公共交通を利用するのか、それともデマンドバスやコミュニティバスなどの、市として公共交通を運行する方針などあるのかお聞きしたい。
[事務局]	公共交通施策については、関係部局に確認するとともに、バス事業者にもヒアリングを実施したい。
[委員]	課題と解決策（案）に関して、第三回の委員会では、解決策について、具体的に、いつ、どの段階で反映されるのかが提示されると良いと考えるが、取り組むことができるのか

を含めて、解決策をどこに、どのように、どのタイミンで実施するのかが現時点では見えにくい。また、観るスポーツの施設整備以外の解決策は、新市民体育館の整備と切り分けた位置づけで良いのかお聞きしたい。

公園内での民間活力の導入について、例えば民間が入って施設整備を予定するのであれば、整備スペースなど管理運営以外の部分について、早い段階で企業の意見を取り入れなければ、できることが限定されてしまう。

新市民体育館について、施設は公共で整備し、運営管理だけを民間に任せる場合、どこまで稼げる・楽しめる施設にできるか懸念がある。

スターバックスへのヒアリングからドライブスルー方式が条件となる中で、狭隘なスペースの中で道路付けできるスペースを、公園内に確保できるのかわかりにくかった。また、民間による施設整備にも取り組むのであれば、公園の施設配置が決まる前に、企業の意見を聞いて検討を進める必要がある。

今回、整備する新市民体育館や陸上競技場は、市民だけのための施設ではないと思うので、スポーツ庁や経済産業省が取り組む、スタジアム・アリーナ改革の要素等も取り入れていただきたいと思う。

[事務局] PPP、PFI の検討に関して、コンセッション方式については、全国でも利用者の多い空港などの施設で取り組みはあるものの、事例が少ない状況だと認識しており、そのため、まずはコンセッション方式の可能性があるのかを把握するために、先進事例の調査を行ったところである。

今後は、関心のある事業者を探さなければならないことから、そこを想定しながらヒアリングを行っていく必要があると考えている。

新市民体育館について、観るスポーツの施設整備の設計は今後であることから、引き続き研究していきたい。

スターバックスへのヒアリングについては、最低 500 坪が必要という条件が示されたので、公園内で 500 坪の面積が確保できるか等を今後確認したい。また、ドライブスルー方式の場合、公園内では隣接する市道に沿って設置することになり、一方でカルチャーパークは国道 330 号に接しているが、側路帯にもなっているため、ドライブスルーでの出入りは困難ではないかと認識している。そのあたりも含めて今後検討していきたい。

国のスタジアム・アリーナに係るコンセッション方式のガイドラインについては、確認しているところである。ガイドラインで示されているアリーナが、新市民体育館の規模と比較して大規模であることから、新市民体育館に適合するかも含めて、引き続き検討

していきたい。

[委員] 住民アンケートの調査結果から、陸上競技場の利用率が高いことが分かるが、新市民体育館及び陸上競技場の整備で、5 年ほど陸上競技場を利用できないことになると思うが、利用できない期間の対応など、どのように考えているのか。

[事務局] 新市民体育館と並行して、陸上競技場の改修及び復旧工事ができないかを検討しながら工期の短縮に努めたいと考えている。

陸上競技場も築約 35 年になることから、今回を機に市民により利活用いただける整備ができればと考えている。

利用者、市民の皆様には 1 月に説明会を実施し、利用できない期間と近隣市町村の施設利用を周知しており、近隣市町村の公園施設管理者にも浦添市民の利用についてご配慮いただきたい旨を連絡しているところである。

市内及び周辺のサッカー場やジョギングコースなどを活用しながらお待ちいただきたいと考えている。

[委員] 陸上競技場内で自治会対抗の陸上競技大会や県民体育大会など開催する際に、テント設営に苦勞する。

テントを設営するための幅がないことや、樹木の根が邪魔になり設営が難しい状況であることから、再整備の検討の際にはテント設営等についても考慮してほしい。

[委員] 立地や地形を活かした公園づくりが示されているが、公園内は高低差があることから、福祉面では動線への配慮が望まれる。また、花や植物があり、ゆっくり過ごせる公園へのニーズがあることから、障がいのある方もない方も等しくゆっくり過ごせる空間づくりをしてほしい。

今年度から基本設計に入っていくのであれば、今後の検討にあたって、障がいのある方からの意見を聞き、反映することでやさしい公園になると思う。

[事務局] 公園整備については、これから基本設計に入っていくが、その際には、沖縄県福祉のまちづくり条例に適合することはもちろん、障がいのある方や関係団体のみなさんの意見を聞いて設計に反映したい。

- [委員] 車椅子利用者が、公園内を自力で移動できるような整備をお願いしたい。
- 金武町の陸上競技場を利用したが、エレベーターや福祉トイレ、スロープなど整備されており、利用しやすい施設であったことから参考にしてほしい。
- [委員] アンケート調査の結果を踏まえて、再整備のコンセプトを明確にする必要がある。
- スポーツ観光交流拠点の形成とあることから、観光面が重視されると思うが、協会としては、市民の健康や競技団体の育成等に取り組んでいるところであり、観光だけではなく、市民や競技団体の利用に配慮した整備を行ってほしい。
- 陸上競技場の観客席は、樹木があることで、木陰があり過ごしやすい空間になっているが、競技を観戦するという点では、樹木で視界が遮られ、観戦に影響があることから対応を検討してほしい。
- [事務局] 本市では、浦添運動公園と、てだこホールを併せて、ウラオソイ文化交流ゾーンとし、学習交流拠点に位置づけており、さらにスポーツを通じた観光交流拠点を形成していきたいという考えのもと、スポーツ・観光交流拠点形成推進事業という事業名になっている。
- 基本構想・基本計画の策定のための調査を進める中で「市民に寄り添った整備を行って欲しい」との市民意見が多く上がっていることから、市民目線の、市民に利用してもらえる運動公園の整備を行っていききたいと考えている。
- 第三回委員会で、運動公園の整備コンセプトを提示したい。
- 陸上競技場について、メインスタンドは国道 330 号側に配置することを検討しており、その他、日除けの設置や緑地の保全など方向性を示したいと考えている。また、本検討委員会に関しては、再整備が完了するまで継続する予定であり、園路や陸上競技場の整備を行う際には、みなさまの意見を取り入れながら進めていきたい。
- [委員] 沖縄アリーナはバスケットで独自色を出しているように、浦添市もハンドボール王国であり、これは他の地域にはない魅力であることから、新市民体育館はハンドボールを前面に打ち出すことで、他周辺施設と差別化を図ることが望まれる。
- [委員] 現在の指定管理料の低減を目的に、PPP、PFI 手法を検討されているが、現市民体育館と新市民体育館の両方を同時に運用することになった場合、現状のコストを上回ることが想定される。また、新市民体育館の活用イメージとして、プロスポーツの本拠地などで

利用することなどが示されないことには、利用者数や運営時間が分からず、民間からの活用案が示されない可能性があるのではないかと懸念する。

あわせて、コンセッションの可能性を探るにあたっては、市としてどこまでの運営権を売却するかを、明確にしておく必要がある。

〔事務局〕 現状の維持管理手法のままでは、市の財政に影響が出ることは認識しており、財政負担を低減する方法を検討しているところである。

今年度からの工事は、新市民体育館を整備するための準備工事であり、本体工事は令和6年度からの予定であることから、本体工事までは少し時間がある。

新市民体育館の利用想定について、琉球コラソンのホームタウンとして利用していくことを、関係者と調整しているところである。

また、コンセッション方式については、可能性を探っていきたいと考えており、検討を進めているところである。維持管理をいかに低減するか、あるいは、収益を上げて還元する方法など含めて引き続き検討する。

〔委員〕 PPP、PFI について、まだ解決策の中に示されていないので、書き込む必要がある。その中で、PPP、PFI に関する方針や条件などを、早い段階で明確にすることが望ましい。

あわせて、駐車場の有料化なども、維持管理の方針と併せて検討していく必要があるのではないかと。

民間企業へのヒアリングを行いながら条件等を検討していく必要がある。

施設整備について、PFI で行うということであれば、省エネになる資材を使うことや、ソーラーパネルを設置することを評価できるような形で公募することも考えられる。

〔事務局〕 PPP、PFI について、企業へのサウンディング調査を今後実施する予定であるが、まずは、どのような企業が関心を持ってもらえるか把握したいと考えている。

駐車場の有料化に関して、庁内でも検討していく必要があると考えているところである。

新市民体育館は、防衛省と内閣府の予算で整備する。P-PFI を導入する場合には施設整備含めて民設民営を考えている。

〔委員〕 サウンディング調査について、沖縄 PPP/PFI プラットフォームの場を活用することで、

	広く民間企業に周知できると思うので、活用を検討していただければと思う。
[事務局]	沖縄 PPP/PFI プラットフォームの場を活用することを検討し、積極的に取り組んでいきたい。
[委員]	人流データを分析して、公園利用者の滞在時間などが把握出来れば、滞在時間に応じて、公園内で必要な機能等が検討できるのではないかな。 公園の防災機能について、公園だけではなく、他の公園やオープンスペースも含めて考える必要がある。 浦添市の地域防災計画で、想定する必要な防災機能のうち、どの程度を浦添運動公園で担うのかなど、把握しておく必要がある。
[事務局]	人流データに関して、現時点では利用者の滞在時間は把握出来ていないため、今後滞在時間が把握できるか検討する。 防災機能に関して、運動公園は広域避難場所に位置付けられており、防災機能の拡充の必要性もあることから、陸上競技場等をこれから整備していく中で、改訂される地域防災計画で示される役割を担えるようにしたい。
[委員]	基本構想、基本計画の中で、維持管理に関することも含め、各解決策の内容をどこまで計画で示すのか、次回委員会前までに事務局と相談したい。 陸上競技場の利用制限に関して、設計業務を出す段階で、陸上競技場が利用できない期間の短縮策や、土日だけ利用できるような工事の仕方など、プロポーザルで提案してもらうこともできるのではないかな。 駐車スペースについて、本来であれば、公共交通施策と土地利用、駐車場の料金設定に関しては、セットで考えるべきものであり、議論することが望ましい。 個人的に浦添市の人口規模や立地を考慮すると、必要に応じて駐車場料金はとるべきだと考える。 市民や市外からの利用者、観光客で、料金設定や料金施策を検討しても良いのではないかなと思う。 また、有料化にする場合には、ゲートを絞ってマネジメントする必要がある、そのあたりも含めて検討する必要がある。

[事務局] 陸上競技場の再整備に関して、工事期間中は、陸上競技場内に工事車両が進入するため、工事を行っていない日であっても、安全面から利用は難しい状況である。そのため、工期をいかに短縮できるかを検討していきたい。

駐車スペースの料金設定等については、先進事例を参考にしながら検討していきたい。

以上